

平成22年度3月専決予算会計別一覧表

(単位：千円)

区 分	補正前の額	補正額	計
一 般 会 計	27,387,856	8,067	27,395,923
特別会計小計	15,107,879	0	15,107,879
合計	42,495,735	8,067	42,503,802

平成23年度6月補正予算会計別一覧表

(単位：千円)

区 分	補正前の額	補正額	計
一 般 会 計	26,675,528	206,992	26,882,520
特別会計小計	15,295,479	0	15,295,479
企業会計 水 道 事 業	1,427,013	0	1,427,013
合計	43,398,020	206,992	43,605,012

平成 23 年 度 6 月 補 正 予 算
主 な 事 業 一 覧 表

会計名	歳入歳出	担当課	事業名	ページ
一般会計	歳出	防災	東日本大震災復興支援事業	1
〃	〃	市民	住民基本台帳システム改修	1
〃	〃	観光	映画「遙かな町へ」支援事業	2
〃	〃	福祉	要援護者台帳システム導入事業	2
〃	〃	子ども	認定こども園整備事業	3
〃	〃	長寿	介護支援ボランティア事業	3
〃	〃	保健	働く世代の大腸がん検診推進事業	4
〃	〃	農林	小規模零細地域営農確立促進対策	4
〃	〃	農林	土地改良事業	5
〃	〃	農林	農地・水保全管理支払交付金事業	5
〃	〃	商工	緊急雇用創出事業	6
〃	〃	管理	県道改良事業費地元負担金	6
〃	〃	生涯	市営陸上競技場整備	7
〃	〃	給食	学校給食調理業務委託（債務負担行為）	7

担当課	防災安全課						
事業名	東日本大震災復興支援事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	9 消防費	9 旅費	5,986	普通旅費	5,986	
	項	1 消防費	11 需用費	19,262	消耗品費	19,262	
	目	5 災害対策費	12 役務費	74	手数料	74	
			20 扶助費	319	被災者生活支援物資購入費	319	
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位:千円)				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
14	0	25,641					25,641
事業の概要(補正の理由)、対象、意図など							
<p>東日本大震災の被災地への人的支援で、関西広域連合の要請に基づき、鳥取県が石巻市へ30人派遣するなかで倉吉市においても県の要請に基づき職員派遣をしており派遣に伴う必要な旅費及び活動服の貸与、必要な物資の支給を行うもの。なお、今後の派遣職員については、専門的な知識を持った職員が派遣される可能性がある。</p> <p>また、災害時に必要な連携備蓄物資の補充及び被災地からの避難者に対する支援として生活用具の提供を行うもの。</p>							
歳出積算根拠(金額)							
<p>(旅費) 7月以降支出負担行為予定分5,985,240円(災害派遣職員及び保健師旅費) ※4月1日から6月26日までの支出負担行為分は予備費により対応 (予定額1,134,920円)</p> <p>(需用費) 災害派遣用(マスク・長靴・手袋等)620,500円 連携備蓄物資(震災関係拠出に係る補充分)18,640,860円 乾パン(クラッカー3,010食)、アルファ米(五目御飯炊飯セット1,350食)、 飲料水用ポリタンク(1,260個)、生理用品(924個)、 簡易トイレ(1セット凝固材100袋入、40セット)、毛布(2,760枚) 紙おむつ(大人用4,032枚)、紙おむつ(子ども用1,092枚)、 救急医療セット(125セット)</p> <p>(役務費) 災害派遣用クリーニング代 73,500円 (扶助費) 被災者生活支援物資購入費 159,368円×2世帯=318,736円</p>							
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など							

担当課	市民課							
事業名	住民基本台帳システム改修							
予算科目	会計	一般	節			説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額				
	款	2 総務費	13 委託料	43,712	システム改修委託料	43,712		
	項	3 戸籍住民基本台帳費						
	目	1 戸籍住民基本台帳費						
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位:千円)					
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源	
11	0	43,712					43,712	
事業の概要(補正の理由)、対象、意図など								
<p>我が国に入国・在留する外国人は、年々増加していること等を背景に、外国人住民に対し基礎的行政サービスを提供する基盤となる制度の必要性が高まっている。</p> <p>これまで外国人住民の居住関係や身分関係は外国人登録法に基づいており、日本人と外国人が別々の制度で把握されているため行政のサービスが行き届きにくいなど課題があった。こうした中で日本の国籍を有しない者について適用を除外している現行の住民基本台帳法が改正され、外国人住民についても住民基本台帳法の適用対象に加えられることとなった。それに伴い外国人登録法は廃止される。日本人と同様に外国人住民についても住民票が作成され、外国人住民の利便の増進及び市町村等の行政の合理化を図ることを目的としている。</p> <p>住民基本台帳法の一部を改正する法律が平成21年7月15日に公布され、施行は公布の日から3年以内の政令で定める日とされていることから平成24年7月頃が予定されている。これに伴い本市の住民基本台帳システムを法改正対応のシステムに改修するもの。</p>								
歳出積算根拠(金額)								
<p>全体事業費54,706千円 平成23年度 43,712千円 住基法改正情報パッケージ、システム設計、システム本体改修、テスト費等 平成24年度(債務負担行為)10,994千円 本番システム移行費、外国人判定処理費等</p>								
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など								

担当課	観光交流課						
事業名	映画「遙かな町へ」支援事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	7 商工費	19 負担金補助及び交付金	10,000	「遙かな町へ」映画化支援事業協力金	10,000	
	項	1 商工費					
	目	3 観光費					
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位: 千円)				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
14	0	10,000					10,000
事業の概要 (補正の理由)、対象、意図など							
<p>倉吉を舞台とした漫画『遙かな町へ』の映画化について、映画制作関係者から計画の意向が表明された。東映、小学館などで構成する制作委員会から要請のあった、地元協力金2千万円のうち県と市がそれぞれ1千万円を負担するもの。</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
倉吉市 10,000千円 (鳥取県 10,000千円)							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							

担当課	福祉課						
事業名	要援護者台帳システム導入事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	12 役務費	212	手数料	212	
	項	1 社会福祉費	13 委託料	4,946	電算システム導入委託料	4,946	
	目	1 社会福祉総務費					
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位: 千円)				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
11	0	5,158		4,946			212
事業の概要 (補正の理由)、対象、意図など							
<p>災害時要援護者避難支援の台帳の整備を行う為に電算システムを導入する。 ①福祉課(障がい者)、長寿社会課(高齢者)の保有する情報を一元管理を行う。 ②防災安全課・長寿社会課・福祉課で情報の共有を行う。 ③要援護者個別台帳情報を管理する。(基本情報・民生児童委員の聞き取り情報)</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
システムソフトウェア・ハードウェア保守料 212千円 要援護者システム一式 (ソフトウェア・ハードウェア) 4,946千円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							
地域支え愛体制づくり事業費補助金 4,946千円 10/10							

担当課	子ども家庭課						
事業名	認定こども園整備事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	19 負担金補助及び交付金	23,935	認定こども園整備事業費補助金	23,935	
	項	2 児童福祉費					
	目	2 保育所費					
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位：千円)				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
12	26,997	23,935		15,956			7,979
事業の概要(補正の理由)、対象、意図など							
幼稚園型認定こども園(認可幼稚園・無認可保育所併設型)から幼保連携型認定こども園(認可幼稚園・認可保育所併設型)設置への変更に伴い、幼稚園との共用部分・認可保育所設置に係る経費を補助することとし、増額補正するもの。							
歳出積算根拠(金額)							
聖テレジア幼稚園改築工事 ・工事費47,982,534円+事務費1,247,545円+開設準備費2,000,000円=51,230,079円 市補助金 51,230,079円 × 3/4 = 38,422,000円 今後所要額 38,422,000円 - 当初予算 14,487,000円 = 補正額 23,935,000円							
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など							
補助金計 38,422,000円 × 2/3 = 25,614,000円 今後所要額 25,614,000円 - 当初予算 9,658,000円 = 補正額 15,956,000円							

担当課	長寿社会課						
事業名	介護支援ボランティア事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	7 賃金	862	事務賃金	862	
	項	1 社会福祉費	11 需用費	666	消耗品費、印刷製本費	666	
	目	4 老人福祉費	18 備品購入費	150	機械器具費	150	
			その他	227	社会保険料、報償金、保険料	227	
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位：千円)				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
11	0	1,905		1,905			0
事業の概要(補正の理由)、対象、意図など							
○介護支援ボランティア制度の構築：高齢者の方が介護支援ボランティア活動を通じて、自らの社会活動を通じた健康増進・介護予防に資することを目的に、介護支援ボランティア登録をしている登録者が、登録施設・事業所等で行ったボランティア活動に対して、実績を勘案してポイントを付与し、その高齢者の申し出により、当該ポイントを換金できる仕組みをH23年度に構築し、H24年度から実施しようとするもの。ボランティアスタッフは300人を予定。							
歳出積算根拠(金額)							
事務補助賃金・共済費：985千円(6月×1人)、介護ボランティア講師謝金(2回)：20千円、消耗品費：330千円(ポイントスタンプ作成等)、印刷製本費：336千円(広報パンフ、ボランティア手帳等)、スタッフ用ボランティア保険料：84千円(300人分)、備品購入費：150千円(事務用パソコン1台)							
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など							
地域支え愛体制づくり事業費補助金 1,905千円×10/10							

担当課	保健センター						
事業名	働く世代の大腸がん検診推進事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	4 衛生費	11 需用費	256	消耗品費・印刷製本費	256	
	項	1 保健衛生費	12 役務費	407	通信運搬費	407	
	目	5 健康増進費	13 委託料	616	がん検診委託料	616	
			20 扶助費	60	大腸がん検診助成費	60	
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位：千円)				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
12	312	1,339	740				599
事業の概要(補正の理由)、対象、意図など							
<p>大腸がんは、罹患数、死亡者数と、我が国に多いがんであり、特に働き盛りの40歳代後半から増加している。大腸がんの治癒率は7割、早期であれば100%近く完治するが、無症状の早期に発見することが必要不可欠であり、がん検診が重要である。しかし、「面倒」、「時間がない」等の理由で受診されない状況で、職場でも検診をしているところは少ない。</p> <p>このため40・45・50・55・60歳の人に大腸がん検診の無料クーポン券と、大腸がん検診手帳を送付し、がん検診の重要性や検診方法を理解してもらい、がん検診を受けやすくすると共に、大腸がんが疑われる人に対しては精密検査につなげるよう医療機関との連携を図る。</p>							
歳出積算根拠(金額)							
PPC用紙・PPCラベル・封筒・受診勧奨用はがき用紙等消耗品費				51千円			
大腸がん検診手帳・クーポン券印刷費				205千円			
クーポン券・手帳等郵送料				407千円			
大腸がん検診委託料				616千円			
大腸がん検診助成費				60千円			
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など							
働く世代への大腸がん検診推進事業費補助金							
補助率：大腸がん検診推進事業の実施に必要な検診費、事務費の1/2							
補助対象経費：1,481,260円×1/2≒740千円							

担当課	農林課						
事業名	小規模零細地域営農確立促進対策						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	11 需用費	1,215	修繕料	1,215	
	項	1 農業費					
	目	3 農業振興費					
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位：千円)				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
13	4,289	1,215				607	608
事業の概要(補正の理由)、対象、意図など							
<p>トマトの水耕栽培施設においては、夏期の高温のため、尻腐れ、空洞果、裂果等により収量、品質低下が2年間栽培した結果の課題となっているので、コンプレッサーを修繕し、細霧冷却を行うことでガラス温室の温度を下げることにより、生育環境が良くなり、収量確保と品質向上に結びつき、経営安定が図られる。</p> <p>なお、コンプレッサーは前使用者の使用から使用不能となっていたもの。</p>							
歳出積算根拠(金額)							
コンプレッサー修繕 1,215千円							
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など							
水耕栽培施設使用者との協議により、修繕料の1/2は使用者の負担とすることで調整済み 1,215千円×1/2=607千円							

担当課	農林課						
事業名	土地改良事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	3,713	県営地域ため池総合整備事業費負担金		600
	項	1 農業費			県営戦略作物生産拡大地下かんがい水田モデル整備事業費負担金		3,113
	目	7 農地費					
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位:千円)				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
13	51,139	3,713			2,700	600	413
事業の概要(補正の理由)、対象、意図など							
<p>○県営地域ため池総合整備事業費負担金 上神・寺谷地区において、老朽化した寺谷ため池の改修を県営地域ため池総合整備事業で実施するため、地元分担金を併せ市負担金と合算して支出する。</p> <p>○県営戦略作物生産拡大地下かんがい水田モデル整備事業費負担金 関金、大倉地区の湿田において、大豆、麦、飼料米などの作付けが行えるように、地下かんがいシステム整備を県営戦略作物生産拡大地下かんがい水田モデル事業で実施するため、市負担金を支出する。</p>							
歳出積算根拠(金額)							
<p>○県営地域ため池総合整備事業費負担金 上神・寺谷地区 事業費 30,000,000円 × 地元分担金 2%=600,000円</p> <p>○県営戦略作物生産拡大地下かんがい水田モデル整備事業費負担金 関金 事業費 11,320千円 × 市負担14%=1,584,800円 大倉 事業費 10,188千円 × 市負担15%=1,528,200円</p>							
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など							
<p>○県営地域ため池総合整備事業費負担金 ・上神・寺谷地区 事業費 30,000,000円 × 地元分担金 2%=600,000円</p> <p>○県営戦略作物生産拡大地下かんがい水田モデル整備事業費負担金 関金 事業費 11,320千円 × 市負担14%×起債充当率90%=1,400,000円 大倉 事業費 10,188千円 × 市負担15%×起債充当率90%=1,300,000円</p>							

担当課	農林課																														
事業名	農地・水保全管理支払交付金事業																														
予算科目	会計	一般	節			説明																									
	歳入歳出	歳出	区分	金額																											
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	4,808	農地・水保全管理支払交付金事業費負担金		11,776																								
	項	1 農業費			農地・水保全管理支払交付金		△ 6,968																								
	目	7 農地費																													
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位:千円)																												
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源																								
13	6,968	4,808		△ 3,484			8,292																								
事業の概要(補正の理由)、対象、意図など																															
<p>施設の長寿命化のための活動への支援 個々の農家での対応が困難なことから、現行の農地・水・環境保全向上対策や中山間地域等直接支払制度の実施によりこれまで地域共同で行ってきた農道・水路等の基礎的な保全管理活動に加え、老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新を行う集落への支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象者：農地・水・環境保全向上対策組織、中山間地域等直接支払制度組織 ・支援する取組：農業用排水路等の補修・更新 ・支援水準：水田4,400円/10a、畑2,000円/10a、草地400円/10a <p>当初、県支出金を市に収入の上、市補助分とともに、地元組織へ支出する予定であったが、鳥取県による調整により、協議会への負担金として各自自治体が支出し、協議会から地元組織へ支出することとなった。 また、当初、大規模組織のみの取組みを想定していたが、国の説明会を受け、地元組織に対し制度説明会を開催したところ、取組みを要望する地元組織が増加した(当初2組織→補正46組織(元54組織))。</p>																															
歳出積算根拠(金額)																															
歳出 11,775,810円																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組単価(円/10a)</th> <th>取組面積(a)</th> <th>市負担率</th> <th>円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水田</td> <td>4,400</td> <td>88,800</td> <td>1/4</td> <td>9,768,000</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>2,000</td> <td>39,546</td> <td>1/4</td> <td>1,977,300</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td>400</td> <td>3,051</td> <td>1/4</td> <td>30,510</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>131,397</td> <td>-</td> <td>11,775,810</td> </tr> </tbody> </table>								取組単価(円/10a)	取組面積(a)	市負担率	円	水田	4,400	88,800	1/4	9,768,000	畑	2,000	39,546	1/4	1,977,300	草地	400	3,051	1/4	30,510	合計	-	131,397	-	11,775,810
取組単価(円/10a)	取組面積(a)	市負担率	円																												
水田	4,400	88,800	1/4	9,768,000																											
畑	2,000	39,546	1/4	1,977,300																											
草地	400	3,051	1/4	30,510																											
合計	-	131,397	-	11,775,810																											
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など																															
<p>当初、県支出金を市に収入の上、市補助分とともに、地元組織へ支出する予定であったが、鳥取県による調整により、協議会への負担金として各自自治体が支出し、協議会から地元組織へ支出することとなった。 県支出金：当初3,484千円→補正後0千円</p>																															

担当課	商工課						
事業名	緊急雇用創出事業（2事業を新設）						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款						
	項						
	目						
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳（単位：千円）				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
	109,798	2,952					2,952
事業の概要（補正の理由）、対象、意図など							
①H23年度緊急雇用創出事業の「地デジ化相談対応事業」の事業の縮小に伴う3,322千円の減額 ②「企業誘致推進事業」の新設 ③緊急雇用創出事業の要件緩和に伴い、被災失業者に限定して募集する事業の実施が可能となったことから、失業者の次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供するため、新規事業として「被災者雇用事業」の実施。							
歳出積算根拠（金額）							
①地デジ化相談対応事業 △3,322千円 ②企業誘致推進事業 1,845千円 企業誘致に関するPR資料作成、情報整理等、企業誘致に係る事務補助を行う事業。 ③被災者雇用事業 4,429千円 東日本大震災による被災失業者に限定して、倉吉市臨時職員の募集を行う事業。							
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など							
市町村緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金 補助率10/10							

担当課	管理課						
事業名	県道改良事業費地元負担金						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	8 土木費	19 負担金補助及び交付金	2,940	県道改良事業費地元負担金 2,940		
	項	2 道路橋梁費					
	目	3 道路新設改良費					
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳（単位：千円）				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
14	0	2,940			2,600		340
事業の概要（補正の理由）、対象、意図など							
県道倉吉由良線（北面工区）及び県道仙隠岡田線（北野工区）の道路改良事業が、県の平成23年度6月補正予算において地方特定道路整備事業で新規予算計上されることに伴い、地元負担金が生じるため今回補正予算を計上する。							
歳出積算根拠（金額）							
地元負担金＝事業費（事務費除く）×7.5%（負担率） ・倉吉由良線 9,800千円×7.5%＝735千円 ・仙隠岡田線 29,400千円×7.5%＝2,205千円 合計 2,940千円							
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など							
地方道路等整備事業債 充当率90% 2,940千円×90%＝2,600千円							

担当課	生涯学習課						
事業名	市営陸上競技場整備						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	15 工事請負費	73,602	維持補修工事 73,602		
	項	5 保健体育費					
	目	2 体育施設費					
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位: 千円)				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
15	375,628	73,602	△ 62,368		129,200		6,770
事業の概要(補正の理由)、対象、意図など							
<p>改修にあたり舗装材(合成ゴム系舗装材・ポリウレタン系舗装材・ゴムチップウレタン系舗装材)について比較検討した結果、第3種の公認競技場としてトータルコストが安く、長く使用でき、利用者に配慮した素材(競技者にはスピードの出る、一般利用者には足に疲労感の少ない)としてポリウレタン系舗装材による全面改修をする。</p> <p>このことに伴う舗装材の変更による価格差等による工事費の増を補正予算計上する。</p>							
歳出積算根拠(金額)							
工事請負費 73,602千円 陸上競技場トラック、助走路等の補正後工事費 401,102千円ー当初工事費 327,500千円							
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など							
<ul style="list-style-type: none"> ●社会資本整備総合交付金 決算見込額123,632千円(内示額)ー現計予算186,000千円=△62,368千円 (交付金減の理由:公園事業は全体的に要望額の6割から7割に配分されたことによる。) ●合併特例事業債 決算見込額309,300千円ー現計予算180,100千円=129,200円 (事業費449,230千円-交付金123,632千円)×95%=309,300千円 							

担当課	学校給食センター						
事業名	学校給食調理業務委託(債務負担行為)						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	債務負担行為					
	項						
	目						
予算説明書 (ページ)	金額		補正額の財源内訳 (単位: 千円)				
	補正前	補正額	国庫	県	地方債	その他	一般財源
5							0
事業の概要(補正の理由)、対象、意図など							
<p>平成18年3月集中改革プランで「調理部門の民間委託を行う。」とされ、学校給食業務のうち、調理・洗浄等業務を民間事業者へ委託し、運営経費の削減を図ることとして、委託内容等検討を進め、関係者等に説明を行ってきた。</p> <p>今後、プロポーザル型公募を行い、安心安全の守れる最適な業者を選定し、平成24年度から28年度までの5年契約を行い、平成24年4月からの委託による業務開始を予定している。</p>							
歳出積算根拠(金額)							
1年分97,279千円×5年間=486,395千円 (平成24年度～平成28年度)							
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など							

基金の内訳

(単位：千円)

区 分	22年度末	23年度		23年度末
	見込額 A	積立見込額 B	取崩見込額 C	見込額 A+B-C
文 化 基 金	4,707	203		4,910
博 物 館 資 料 整 備 基 金	2,108	1,003		3,111
緑を守り育てる基金	13,520	222	1,049	12,693
職 員 退 職 手 当 基 金	452,388	362		452,750
公 共 施 設 等 建 設 基 金	86,974	70		87,044
教 育 振 興 基 金	151,835	122	210	151,747
ふるさと農村活性化基金	17,905	24		17,929
集 落 排 水 事 業 推 進 基 金	478,332	7,672	46,112	439,892
若者の定住化促進基金	1,372,306	1,398	31,098	1,342,606
遥かなまち倉吉ふるさと基金	10,210	1,206		11,416
定住自立圏構想推進基金	88,952	178	89,130	0
住民生活に光をそそぐ基金	6,500	5	3,250	3,255
企 業 立 地 推 進 基 金		100,000		100,000
湯 の 関 振 興 基 金	12,242	19		12,261
財 政 調 整 基 金	897,540	119,313	105,477	911,376
減 債 基 金	415,472	43,227	50,727	407,972
計	4,010,991	275,024	327,053	3,958,962

うち6月補正分
104,708千円